

市議会議員って必要ですか？

ある会合で、こんなことを言われました。「何をしてるの？何かしてくれたの？」いきなりです。「悪いけど、議員や行政に何も期待してないよ」ショックでした。議員のレベルが低すぎてどうにもならないのが発端らしい。実際、何の為に議員をやってるの？って人います。市民に見られているんですね。名誉の為そんな人に甲斐市を任せるわけにはいきません。

坂本かずゆき後援会 事務所
住所 甲斐市富竹新田455
Tel & fax 055-260-4666
HP <http://e-kazuyuki.com>
E-mail info@e-kazuyuki.com

坂本かずゆき 甲斐市議会 活動報告



Q. 「地域再生計画」に参画してはどうか

A. 地域の実情を考え、地域計画を作成。



3月予算議会一般質問の写真

地域再生計画とは、地域の創造力を生かし、地域の創意工夫を凝らした自立的な取り組みを国が支援する制度であります。甲斐市では、埋もれた文化財や逸品などが数多くあります。それを、住民やNPOや大学などと連携して新しいものを作って地域の起爆剤として売り出すことによって甲斐市を売り込もうと考えています。行政だけでは、固執したアイデアになり、幅広くアイデアを募る意味でも大学との連携は欠かせないと思います。他市よりも若干遅れてい

- ① 国からいくら補助をもらっているの
地方交付税で三八億円余り、国庫支出金で一八億円、ちなみに山梨県からは、一四億円余りです。
- ② 市債の発行額は
二五億円発行して、前年よりも8%増です。
- ③ 議会の傍聴者はいるの
今回は、約70名

Q. 新年度予算の特徴は？ 新しい事業は？

A. 予算総額343億円余り 事業の効率化とサービスの向上に重点

景気の低迷により、市税が2,8%減少したりと厳しい財政運営が要求される中、「創甲斐教育」の推進やトマトのブランド化による赤坂地区活性化事業や防災行政無線のデジタル化、竜王駅を中心とした地域公共交通活性化事業、公費負担による妊婦健康診査など市民に直結する事業サービスの展開が行われるが、引き続き福祉サービスの向上を期待したいと思います。

Q. こども手当は、少子化の歯止めになるの？

A. 甲斐市全体で年間35億円の支払い。約11,500人分

政府は、6月からこども手当の支給を決めました。少子化対策の一環ということですが、本当に少子化の歯止めになるでしょうか？その財源も決まってなく国債発行に頼ることになれば、将来そのつけは、もらった子供たちへのしかかってくる。いわゆるバラマキよりは、子供を育てている親の雇用安定とか保育環境整備とかに使ってもらいたいと思います。例えば、甲斐市では、その支給額一年分で保育園すべてを新築できるし、中学3年生までの医療費や給食費も無料にできる金額です。

..... 坂本かずゆきの思うこと。

議員の仕事は、事業の執行が予算通り進んでいるかなどチェックすること。そのほか、その事業が、市民にとって有意義なものか判断するのも仕事です。そして、これからは、議員自らが政策をつくって提言することが必要となります。それには、法令など専門的な知識を覚え、勉強することが必要となります。甲斐市の将来ビジョンを描くには、日々勉強して、情報を集め、より具体的な政策を本気で創りだすことが議員の仕事だと考えています。

坂本かずゆきプロフィール (46才)

- 甲斐市議会議員(1期目)
- 厚生環境常任委員会
- 議会だより特別編集委員会委員長
- 中巨摩広域事務組合議員
- 竜王土地改良理事
- 竜王中学校PTA会長
- 甲斐市スポーツ少年団副本部長
- 甲斐市スポーツ少年団野球部会部会長
- 甲斐市消防団竜王第一分団第三部団